

灯



大河ドラマ「軍師官兵衛」が人気という。官兵衛ゆかりの中津市は観光客が急増とのことで先般お会いした中津市長さんも笑みが絶えない様子。放送開始の頃はそれほどではなかったよ

うだが、芸達者な配役と本能寺

の交わりからの衛た
戦国末期のタイ兵か
ナミックな時代官の
背景が人気急上黒田
昇の一因だろ先祖

う。8月は秀吉の九州征伐の放映時期となり、黒田藩とも合わせ九州に焦点が合っているが、そこには実はわが家の先祖も深く関係している。

天正末期、わが先祖は今日の久留米市草野町地域を地盤とした豪族で、秀吉の九州征伐には反秀吉勢だった籠造寺家の一員

として小早川隆景や黒田官兵衛を相手に戦ったようだ。戦いぶりにはなかなか勇猛だったらしく秀吉軍からは目の敵とされ、隆景の讒言により熊本南関の庄屋に呼び出され謀殺された、と久留米市史に、九州大学所蔵の「草野文書」からの引用で紹介されている。結果わが家は一家離



草野 義輔

散で一部が日田に逃れたとのこと。草野氏の嫡男は鍋島家にお預け。その妻は隆景の妹で、戦国期の複雑な姻戚関係を彷彿とさせてくれる。

軍師官兵衛はかなりの策士なので、小早川隆景の讒言の背後には、官兵衛がいた可能性が高い。ならば官兵衛はご先祖様のかたきともいうべき存在かも。

そんな目でドラマを見るとヒーローも悪役に見えるからますます面白い。(昭和学園高校理事 長・日田市)